

## 山口県介護支援専門員協会 地域代表者会議 概要

開催日 令和元年10月12日(土) 午後3時から午後5時まで  
会場 山口県維新百年記念公園 維新大晃アリーナ 図書室  
参加者 二井会長、橋副会長、松谷副会長、堀田理事(広報事業部)、山本誠理事(公益事業部)、上野理事(調査研究部)、岩神理事(生涯研修部)  
木村友和(岩国会長)、西富賢一(柳井広域)、山本雅美(周防大島会長)  
下野忍(周防大島副会長)、藤本真樹(周南会長)、田村則子(下松会長)  
高嶋晴紀(光会長)、安光正之(山口会長)、綿田敏孝(宇部会長)  
正司一文(山陽小野田会長)、塩見昌丈(美祢会長)、河崎圭治(下関会長)  
小林和明(長門地域会長)、中山京子(萩広域会長)

### 1 報告事項

#### (1) 日本協会支部長会議の概要について

二井会長挨拶の後、日本協会の支部長会議について引き続き二井会長が報告、説明を行った。

山口県の会員数は8月時点で1442名であり昨年度に比べ、減少しているが本日現在で1481名とまだ伸びており、今年度も1500名を目指していきたい。

情報収集システム(モニター調査)について山口県から13名の登録をお願いし調査に協力している。

日本協会より国家資格化に向けたプロジェクトチームを立ち上げ、動いている。

国も新たな国家資格を増やすのは消極的であり政治の力が必要であると提言があった。

### 2 協議事項

#### (1) 令和2年度入会者に係る入会手続き等について

入会者に係る入会手続き等について二井会長が説明を行った。

前年度代表者会議を開催した際に事務局負担軽減の為、会費の納入方法、名簿管理等の変更をお伝えしているが、報告している内容と異なることがあり、今後は基本的に口座引落をお願いしたい。

福本事務局長より今後の流れの説明を行った。

令和2年度より県協会を入会手続き窓口とし、名簿の取りまとめ等の会員管理全ての業務を一括して行うことの変更をお願いしたい。

原則、各会員個人口座からの引落としとなり、令和2年度中旬頃、口座振替依頼書、継続申込書を会員宛に送付する。3月中旬頃までに同封の返信用封筒にて返送をお願いする。その後、6月に取りまとめた名簿データを三菱UFJファクターへ送付する。第1回引落とし予定日が6月27日となる。回収事務手数料は当会で負担するため、令和2年度の会員に対して支払われる日本協会の助成金(名簿管理手数料、支部交付金)を各地域協議会から県協会へ移行させていただく。

新規入会会員、自動引き落としできなかった方への対応とし、年間3回の引落

しを予定している。

会員情報については日本協会の会員専用ページより変更を行っていただきたい。令和2年度に限り継続申込書に変更内容を記載いただければ当協会にてシステム上の変更をさせていただく。

別添配布している入会手続き窓口変更のチラシを地域事務局より会員宛にご案内いただきたいため、会費納入方法、Q&A等記載しているが、お問い合わせについては県で個別に回答させていただくため、月ごとに集まった質問を一括してご連絡いただきたい。対応方法等のフォーマットを作成し、地域協議会事務局へ送付する予定である。

また年度途中の地域移動については、各地域協議会の規定によりお願いしたい。各地域協議会の会費、総会時期の内容に不備があればご連絡いただきたい。

随時名簿送付となり、管理にタイムラグが生じる恐れがあるが、地域の実情に合わせて名簿を送付したい。

#### ○宇部市（綿田会長）

複数の市に入会されている方はおられないのか。宇部の場合は賛助会員のシステムがあり、国、県への入会の必要はないため、今後その様な方が増えてくるのではないか。

→複数の市に入会されている方は住所地か勤務地の地域で正会員として入会をお願いしたい。

賛助会員システムは残していただき、3層構造の入会案内を丁寧に説明していただいた上で理解いただきたい。

#### ○岩国市（木村会長）

岩国市は今年度より会費を3,000円から2,000円に値下げしている。

会員によっては事業所から会費が出るため、年度始めや決まった時期にしかでない場合もあるがその時の対応方法はどのようになるか。

→業者への口座振替依頼書の提出期日は第1回目は5月24日となるため、それまでに提出いただければ引落日には間に合うが、個人口座での引落しをお願いしているので立替をしていただくようになる。希望があれば領収書の発行も対応する。

#### (2) ケアマネジメント研究大会、全国大会について

ケアマネジメント研究大会について松谷副会長が説明を行った。

本日現在、参加者124名、HP抽選会76名の申込みをいただいている。昨年度は参加者約180名のため引き続き声掛けをお願いしたい。

毎年各地域協議会へお願いしていた受付係を今年度は受付を2箇所にとめる関係で理事で対応する。

今年も景品をご提供いただける地域があればお願いしたい。毎年美祢協会よりご協力いただいている美祢市福祉の市で販売した売上げを景品にあてる。

お楽しみ抽選会は資料表紙のナンバーで抽選会場に参加されている方のみに当

たるとお願いする。

全国大会について橋副会長が説明を行った。

全国大会 in 大会山口の日程は令和3年8月28日（土）、29日（日）となる。メイン会場は新山口駅新設会場のコンベンションホール、分科会、懇親会会場は山口グランドホテルを予定している。

令和2年度の役員改選後の理事の方から実行委員としてお手伝いいただきたいため、関心がある方、興味がある方を推薦いただき盛り上げていただきたい。次回実行委員会は11月18日を予定しており、2、3か月に一度のペースで委員会を開催する。

日程は決定しているので、県社協や他団体へ同日の研修会やイベントは避けていただくようお願いしたい。

### （3）地域事務局の運営・体制について

#### ○岩国市（木村会長）

岩国市は地域の役員の選任方法が持ちまわりや一本釣りになっており、アンケート等の依頼がきても中々協力できず、差がでてしまう。会員の方にも申し訳なく、各地域での選任方法等お聞きしたい。

#### ○柳井広域（西富会長）

柳井市と広域が別々の構成となり、市の研修会は年4回開催している。広域は平生、田布施、上関地域の中でお願いする形となる。2年改選で、退任する場合、後任を見つけないといけないので気の弱い理事は断れない。

#### ○周防大島（山本会長）

周防大島は正会員と周防大島のみ入会の一般会員に分けている。周防大島でも役員の選任方法は永遠のテーマになっている。役員になると自分の為にもなるが、中々候補者がいない。次年度からは1人ケアマネの所にも事業所単位で輪番制でお願いすることを検討している。

#### ○周南市（藤本会長）

周南市の会員数は約140名で役員に困る事はない。研修を年4回開催しており、その中で頻繁に参加されている方等に次期役員をお願いする。一期を5～6年でお願いしており、役員のモチベーションを上げる等、忙しくても楽しく、一人に負担が掛からないようにしている。

#### ○下松市（田村会長）

下松市でも役員に困る事はなく、県も市の理事も名誉なことになっている。役員の選び方は行政より組織へ声掛けをし、事業所へまずお願いする。または月に1度の研修会、事例検討会に参加されている方に2、3年前から声を掛け育てるようにしている。

#### ○光市（高嶋会長）

光市は役員の選任に苦勞しており、事業所へ依頼文を出し2年任期の輪番制でお願いしているが義務化している。どうしても会議は夜遅くなり、範囲が広いため、

コーヒー代を300円出すようにしている。

○山口市（安光会長）

山口市は会員数約130名で、2年任期、地域制で選んでおり、輪番制や、一本釣りでお願いしており、地域により分散している。一本釣りは研修会に参加されている方へ声掛けをしている状況で、退任する時は自身で後任を立てることとしている。

○宇部市（綿田会長）

宇部市では、会員数は多いが事業所により一人も会員の入会がないところもあり組織率が悪い。理解して研修のお手伝いをしてくれる人の中で次期役員を育てていくようにしている。

○山陽小野田市（正司会長）

2年任期の8名構成である。市役所の中に地域包括があり輪番制で毎年1名お願いしている。特定事業所加算の要件にある共同研修会を別で開催しており、ノウハウを学ぶため理事と一緒に企画している。理事の選任は、研修会で若い意欲のある方へお願いしている。県は長く堀田理事にお願いしている。

○美祢市（塩見会長）

2年任期で合併した関係で旧美祢と秋芳、美東地区のそれぞれ輪番で3名ずつ出していく形をとっていたが、事業所の数も減り難しく、先日地区の理事会で会則も変更し人数を減少している。次の代より交通費を出せればと検討している。

○下関市（河崎会長）

会員数約280名で、歴代の会長が築き上げてきたものを壊さないようにしている。2年任期だが、一期で代わる事はあまりなく、医療法人と社会福祉法人が合併している事業所より一本釣りでまんべんなく探すようにしている。役員報酬はない代わりに毎月のようにある研修会でお弁当を出している。

○長門地域（小林会長）

小さい地域だが、モチベーションが高く頑張っている方に役員が集中している。今まで役員改選に関わったことがないが、一本釣りではないかと思う。事業所が固まらず色々な地域から役員が出る事が理想的である。

○萩広域（中山会長）

萩市は会員数が年々減っており、居宅以外の会員はほぼいない。理事により意欲のある方とない方の差が激しくこの度、輪番制を組み直しているため、会長に立候補している。次期会長候補もおり、引っ張っていく上の者のモチベーションから高くするよう心掛けている。会議時間を短縮する、理事に出ていない方の意見も吸い上げる等考えながら運営している。

（4）意見交換

○宇部市（綿田会長）

行政の会議には各地域も出席しているか。

○光市（高嶋会長）

都市政策会議があり、高齢者の側から意見を求められ出席したりしている。

○下関市（河崎会長）

下関市は医療ネット会議、地域密着、認知症等、幅広く出席している。会員の声を反映出来たり、行政からの声を会員に届けられるのでメリットもある。

○橘副会長

行政からの協会の見られ方であり、宇部市はかなり巻き込んでもらえているのではないか。

○山口市（安光会長）

市が運営している居宅部会の代表が出席しているので山口市は呼ばれない。

○周防大島町（下野副会長）

周防大島は2、3年で会議が増え、8会議を会長が一人で出席していた時もある。

○萩広域（中山会長）

萩市は医師会が今年度予算を取り、介護と医療の連携室ができ、多職種連携会議が始まった。医師からの意見でケママネが何をしているかもっと理解出来れば仕事も楽になる等、医師を巻き込んで動いていく事が増えている。

○下関市（河崎会長）

組織率の件で各地域協議会の要件研修の非会員の受入れ状況や研修費についてお聞きしたい。会員増に繋げるため下関市は年3回開催し、地域の制限は定めていない。

○山口市（安光会長）

山口市は会員は無料、非会員の研修費は2,000円いただいている。非会員を受け入れてしまうと会員が受講できないことがあるので今まで制限をかけていたが、差別化をなくしたところ20名の参加があった。

○美祢市（塩見会長）

美祢市は定員に余裕があれば、美祢市以外の受講も受け入れているが会費は取っていない。

○上野理事

長門市は行政が開催している。会費の差別化もなく、市内の方だけの受入れとなる。

○岩神理事

今年度主任研修が160名の受講者となり、今後要件研修を受講される方も増えていくのではないかと思う。全て中部で開催しており、各地域で開催していただければ受講生も受講しやすくなる。

○二井会長

内容もあり、県協会も回数は確保したいが、地域で受講できた方は県協会をキャンセルされる方も中にはいる。近隣で受講を希望されているので企画していただけると有難い。

○上野部長

調査研究部より令和2年度の研究発表についてご案内しており、岩国市、下松市、宇部市2題、令和3年度に発表いただく周防大島より申込みをいただいている。令和3年度は、全国大会の年に当たり、周防大島、山陽小野田市、下関市、萩市が発表地域となるので取組みについて引き続きご協力をお願いしたい。

#### (5) その他

薬剤師会のお薬スカッと解消プロジェクトの事業への協力について二井会長が説明を行った。

前年度も実施しているが今年度も薬剤師会より薬と健康の週間（10月17日～10月23日）にあわせて「お薬スカッと解消プロジェクト」実施の依頼があった。方法は利用者のご自宅に残薬があつてお困りの場合、お薬スカッと解消バッグ等に入れ、調剤された薬局に持参していただき、相談や残薬等で薬局に連絡を取りたいときには薬局へのお薬相談書（記入例）の活用をお願いしたい。